

第二次『米谷地域づくり計画』

計画期間 令和2年度～令和6年度



米谷地域づくり推進協議会
米谷地域づくり計画策定委員会

目 次

はじめに

第1章 計画策定の背景	2
1 地域づくりを推進する意義	2
2 地域の現状	2
(1) ひとの現状	
(2) 生活環境の現状	
(3) 米谷地域の沿革	
3 地域の課題	6
(1) アンケート調査の実施	
(2) アンケート調査の結果について	
(3) アンケートに寄せられた提言	
第2章 第一次計画の取組状況と課題	12
1 第一次計画の取り組み状況	12
2 第一次計画に取り組んでの成果と課題	12
第3章 基本方針	14
1 計画の目標	14
2 計画の期間	14
3 基本の方策	14
(1) 基本テーマ	
(2) 事業の進め方	
(3) 事業の見直し	
資料編	
資料1 策定委員名簿	17
資料2 策定スケジュール	17
資料3 アンケート用紙	18

はじめに

登米市では、市民が主体のまちづくりを進めることにより、住み良い地域社会の実現を図ることを目的に、平成 24 年に「登米市まちづくり基本条例」を制定しました。

この条例に基づき、米谷地域づくり推進協議会では、「米谷地域づくり計画」を策定し、地域住民が地域に愛着を持ち、安心して暮らせるよう取り組んでいます。

第一次計画は平成 27 年度を初年度とする 5 か年計画でしたが、この 5 か年の事業を検証し、新たな 5 か年計画となる第二次米谷地域づくり計画策定に着手し、作業を進めて参りました。

地域の皆様にはアンケート調査にご協力をいただくなど、計画策定に関わっていただきました。計画書ができあがりましたので、どうぞご覧をいただき、策定に携わった方々の思いを汲み取っていただくと共に、計画の目指す目標が達成できますよう、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いたします。

令和 2 年 3 月 1 0 日

米谷地域づくり推進協議会
会 長 秋 葉 茂 雄

第1章 計画策定の背景

1 地域づくりを推進する意義

地域づくりとは、「安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築するため、住民が主体となって地域課題を解決していく活動や取り組み」と言われています。

少子高齢化や人口減少など社会経済状況の変化などにより、一人暮らしや高齢者世帯など援護を必要とする方々の見守りや、災害時の助け合いなど、地域の課題が増大化・複雑化しています。また、人間関係の希薄化や地域活動への無関心など、地域コミュニティは厳しい状況にあります。

それでも私たちは、これらの変化と課題に対応して、この地域を住み良い地域、元気な地域として次の世代に引き継がなくてはなりません。

2 地域の現状

米谷地域は明治4年7月、廃藩置県の施行により米谷村として誕生しました。東和町の南部に位置し、地区の北に市街地、西に北上川、東南部は山地に囲まれた自然豊かな地域です。

(1) ひとの現状

平成19年から平成31年までの人口推移をみると、米谷地区の総人口は2,965人から2,434人へと531人、約18%減少しました。世帯数でも5%、45世帯減少しています。

表1 米谷地区の行政区別人口・世帯数の推移（各年3月末現在）

単位：人、世帯、%

		H19	H21	H23	H25	H27	H29	H31	H19~31 の増減率
米谷1区	世帯	151	146	144	130	132	125	125	△17.2
	人口	401	388	373	334	329	309	303	△24.4
米谷2区	世帯	112	103	101	97	94	90	89	△20.5
	人口	315	279	267	254	240	229	229	△27.2
米谷3区	世帯	238	226	231	240	260	270	265	11.3
	人口	745	719	705	724	736	729	703	△5.6
米谷4区	世帯	59	58	57	57	57	58	57	△3.4
	人口	227	220	212	213	199	189	181	△20.3
米谷5区	世帯	69	70	69	65	67	66	63	△8.7
	人口	273	262	246	238	224	211	191	△30.0
米谷6区	世帯	56	55	54	51	51	51	50	△15.3
	人口	172	167	160	154	147	150	141	△18.0
米谷7区	世帯	62	62	62	64	65	62	58	△6.5
	人口	206	202	193	193	194	189	175	△15.0
米谷8区	世帯	96	97	95	93	96	97	95	△1.0
	人口	381	366	353	347	343	329	312	△18.1
米谷9区	世帯	64	63	62	62	63	63	60	△6.2
	人口	245	235	234	228	219	210	199	△18.8
計	世帯	907	880	875	859	885	882	862	△5.0
	人口	2,965	2,838	2,743	2,685	2,631	2,545	2,434	△17.9

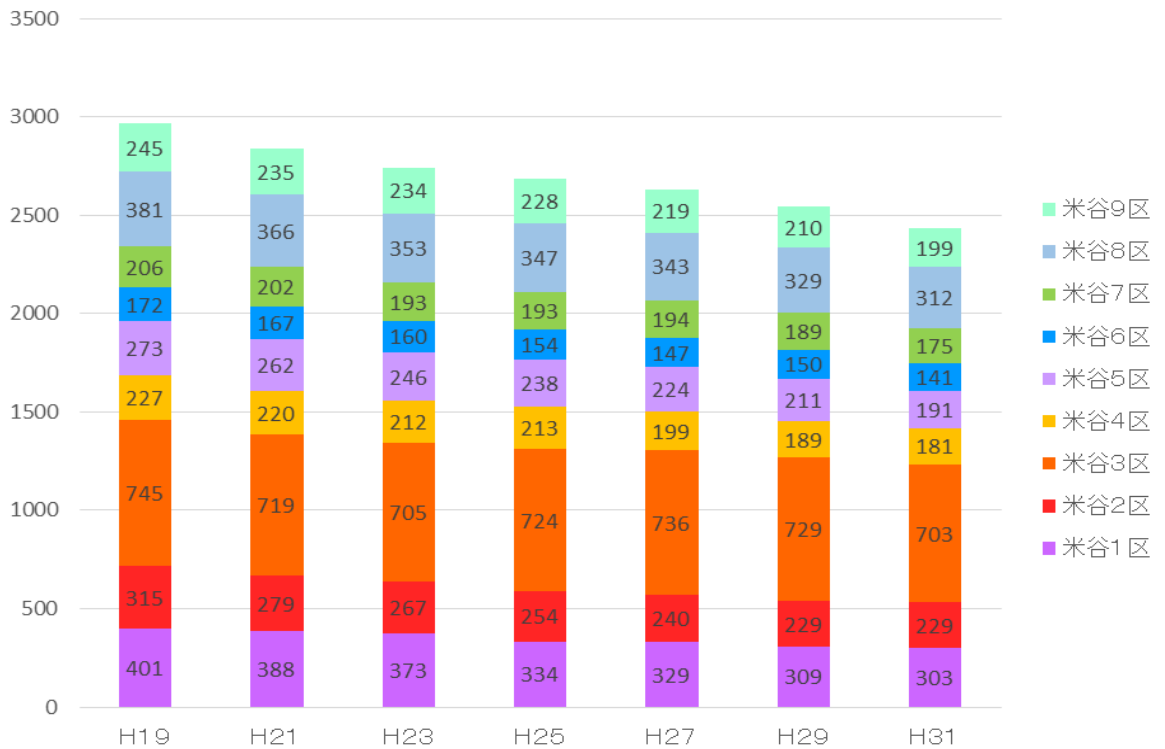


図1 米谷地区の行政区別人口の推移（各年3月末現在）

平成31年3月末の米谷の年齢別の人口は次のようになっています。65歳以上の人口は930人で、高齢化率は38.2%です。

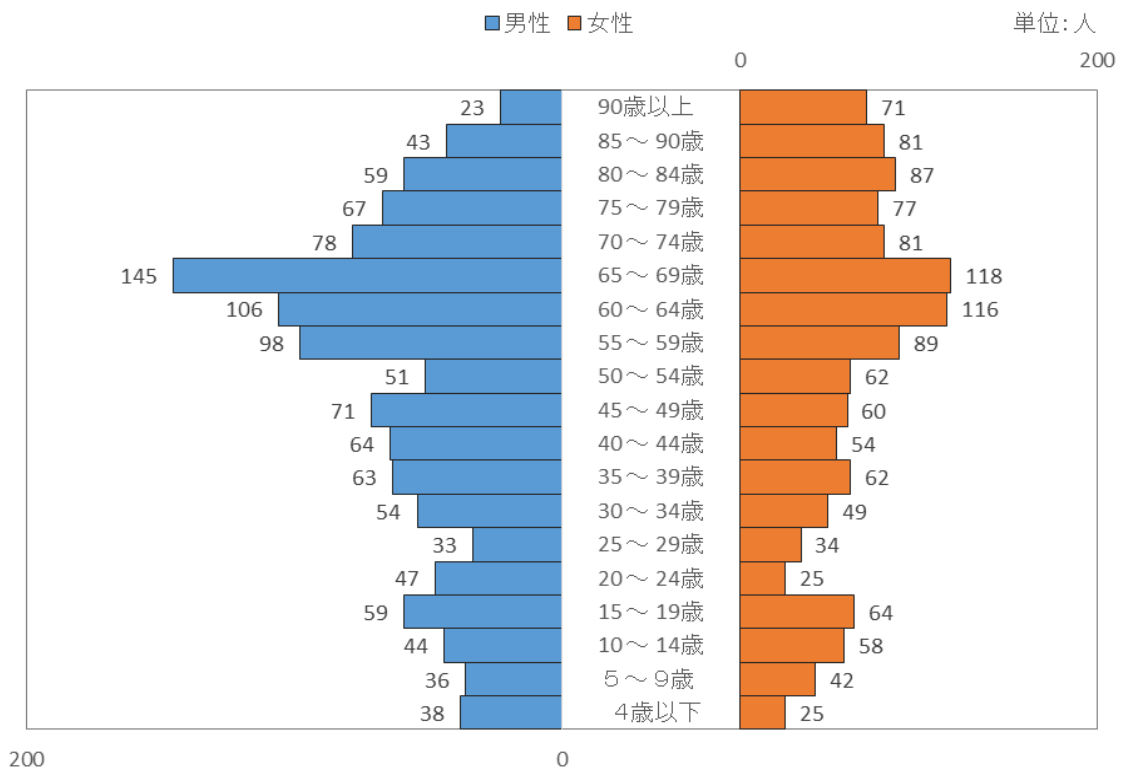


図2 米谷地区人口ピラミッド（平成31年3月31日）

(2) 生活環境の現状

①道路の現状

米谷地区には、地区の中心部を東西に国道398号が通っており、地区の北部には国道346号が通っていて、海岸部と内陸部をつなぐ交通の要所となっていました。しかし、三陸自動車道が開通するにつれ、地区内の国道を通行する車両数は大きく減少しました。交通量の減少は経済活動にも影響し、営業を継続することができなくなった商店も見受けられました。

②公共交通機関の現状

米谷地区内を通る公共交通機関としては、路線バスである市民バスが3路線、無料で利用できる住民バスが1路線、さらに患者輸送バスとスクールバスが運行されています。

- ・市民バス 登米線（登米～米谷病院～佐沼） 1日9便
津山線（津山～米谷病院～佐沼） 1日2便
東和線（米川～大沢吉田～佐沼） 1日9便
- ・住民バス 東和総合支所～米谷病院 1日8便
- ・患者輸送バス 楼台地区（楼台～米谷病院）火・金曜日 1日2便
相川地区（相川～米谷病院）火・水曜日 1日2便
錦織地区（吉田～錦織～米谷病院）月・木曜日 1日2便
嵯峨立地区（嵯峨達～米谷病院）月・水・金曜日 1日2便
（※上り、下りを各1便とカウント）

③医療機関等の現状

現在米谷地区にある医療機関は、市立米谷病院だけとなっています。

米谷病院の診療科は内科、整形外科、小児科、神経内科、耳鼻咽喉科の5科となっており、病床数は90床です。

福祉施設として、東和高齢者福祉施設があり、特別養護老人ホーム、デイサービス、生活支援ハウスの運営がなされています。

④教育施設の現状

米谷地区内にある教育施設としては、中学校1校、小学校1校、認定こども園1園と社会教育施設として米谷公民館があります。

表2 児童生徒数（令和元年5月1日現在）

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
東和中学校	35	38	44	—	—	—	117
米谷小学校	15	12	25	10	19	21	102

表3 園児数（令和2年1月1日現在）

園名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
米谷こども園	4	6	8	12	15	15	60

米谷公民館は、米谷地域づくり推進協議会が指定管理者として、施設管理、事業運営、団体育成等を行っています。現在の職員数は集落支援員1名を含む4名です。

なお、米谷地域づくり推進協議会は、公民館のほかに不老仙館、楼台コミュニティセンターの管理もを行っています。

(3) 米谷地域の沿革

明治4年7月に廃藩置県の施行により米谷村が誕生しました。県北部登米市東和町の南部に位置し地区の北は市街地、西に北上川、東南部は山地に囲まれた水田地帯の山村です。

・明治4年10月	第一区米谷村が誕生する。
・明治5年	米谷村と楼台村が合併し秋実村と仮称した。
・明治6年3月1日	米谷郵便取扱所が設置される。(元町130番地) ※ 同年8月1日米谷郵便局に改称。
・明治8年10月17日	水沢県による村落統合により、楼台村が米谷村に編入される。
・明治22年4月1日	市町村制施行により、米谷村、錦織村、米川村は、ほぼ現在の区域区分となる。
・明治36年11月1日	米谷村から米谷町と改称になる。
・明治38年1月30日	米谷船橋竣工。
・大正10年	仙北鉄道米谷駅営業開始。(当時、米谷浅水駅)
・昭和5年7月	米谷大橋及び取付け道路竣工。
・昭和7年1月31日	七十七銀行佐沼支店米谷出張所。 (大正6年開設・東北実業銀行佐沼支店米谷出張所が改名)
・昭和18年12月	米谷病院は古川市の久美愛病院米谷分院として設置。
・昭和27年3月31日	米谷、浅水、米川、三町村組合立米谷高等学校設立。
・昭和31年9月30日	錦織村と米川村が合併し日高村となる。米谷町は存続。
・昭和31年10月	米谷病院は米谷町と中田町の組合立病院として設立。 (翌年町村合併により東和町と中田町の組合立病院となる)
・昭和32年5月1日	米谷町と日高村が合併し東和町が誕生する。
・平成17年4月1日	登米郡8町と本吉郡津山町が合併し登米市が誕生する。
・平成22年3月22日	三陸自動車道登米東和インターが開通する。
・平成23年3月11日	東日本大震災により甚大な被害を受ける。
・平成28年4月16日	三陸自動車道三滝堂インターが開通する。
・平成29年4月1日	道の駅三滝堂が開所する。



3 地域の課題

(1) アンケート調査の実施

米谷地域に生活する方々が、生活するうえで日々考えていることや、地域活動の実態を知るとともに、第一次米谷地域づくり計画に基づき実施してきた事業を検証し、第二次地域づくり計画に活かすことを目的に、アンケート調査を実施しました。

- ・実施時期 令和元年6月
- ・対象者 米谷在住の中学生以上
- ・回収状況 配布数 1,715 回収数 1,174 回収率 68.5%
- ・調査項目 資料編参照

(2) アンケート調査の結果について

アンケートには、中学生以上の方に回答していただくというものでしたが、配布数1,715部、回収数1,174部と回収率68.5%と、多くの地域の方々の声が届けられました。

アンケートの設問については、18 ページ以降を参照してください。

主な項目についての結果は次のようになっています。



○日常の交通手段

日常的な交通手段では、20代から70代ではほとんどが自動車ですが、80代でも40%の方が運転をしています。多くの方が日常生活に自動車を必要としている状況が見て取れます。高齢となって運転をすることが困難となった場合の交通手段の確保が課題となっています。

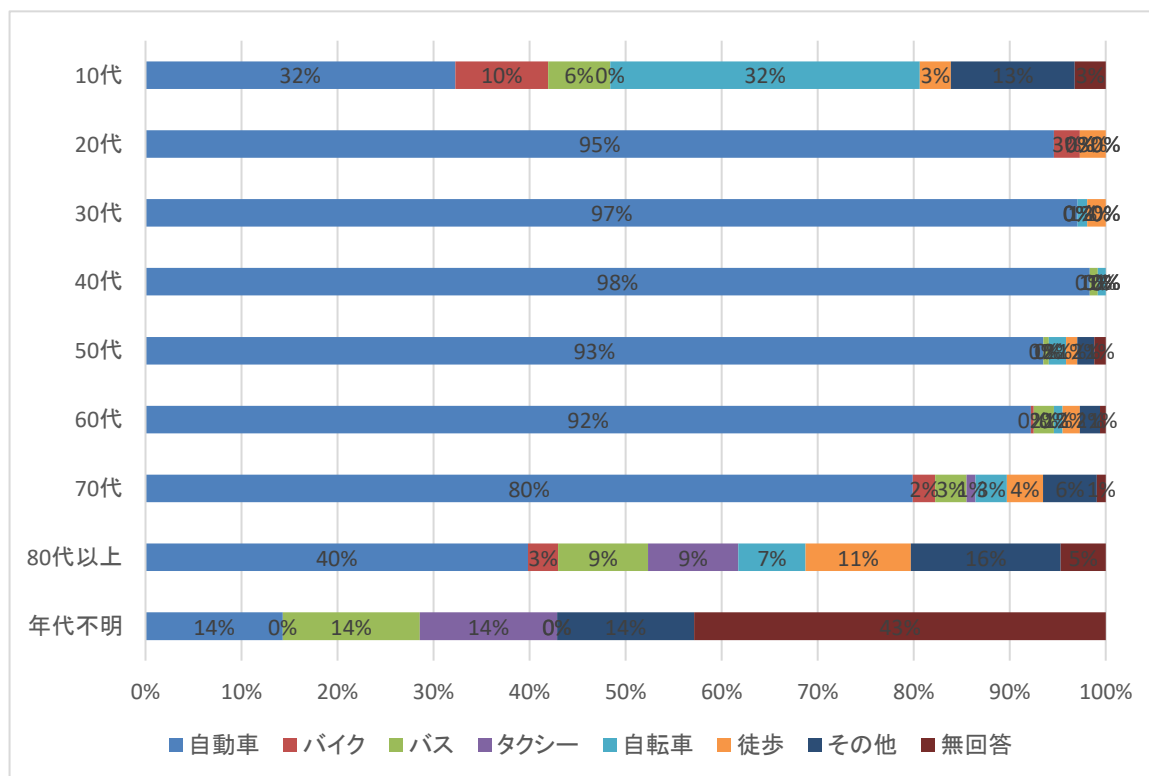


図3 日常的な交通手段

○日常生活で不安なこと

日常生活について不安を感じていること、困っていることとしては、第1位に人口減少27.8%、第2位に商店が少なく買い物が不便であるが26.0%、第3位には農地山林の維持管理で25.2%、医療体制が第4位で24.8%となっていました。年代別にみると、若い年代では仕事・雇用が、高齢になると農地山林の維持管理が上位にきました。

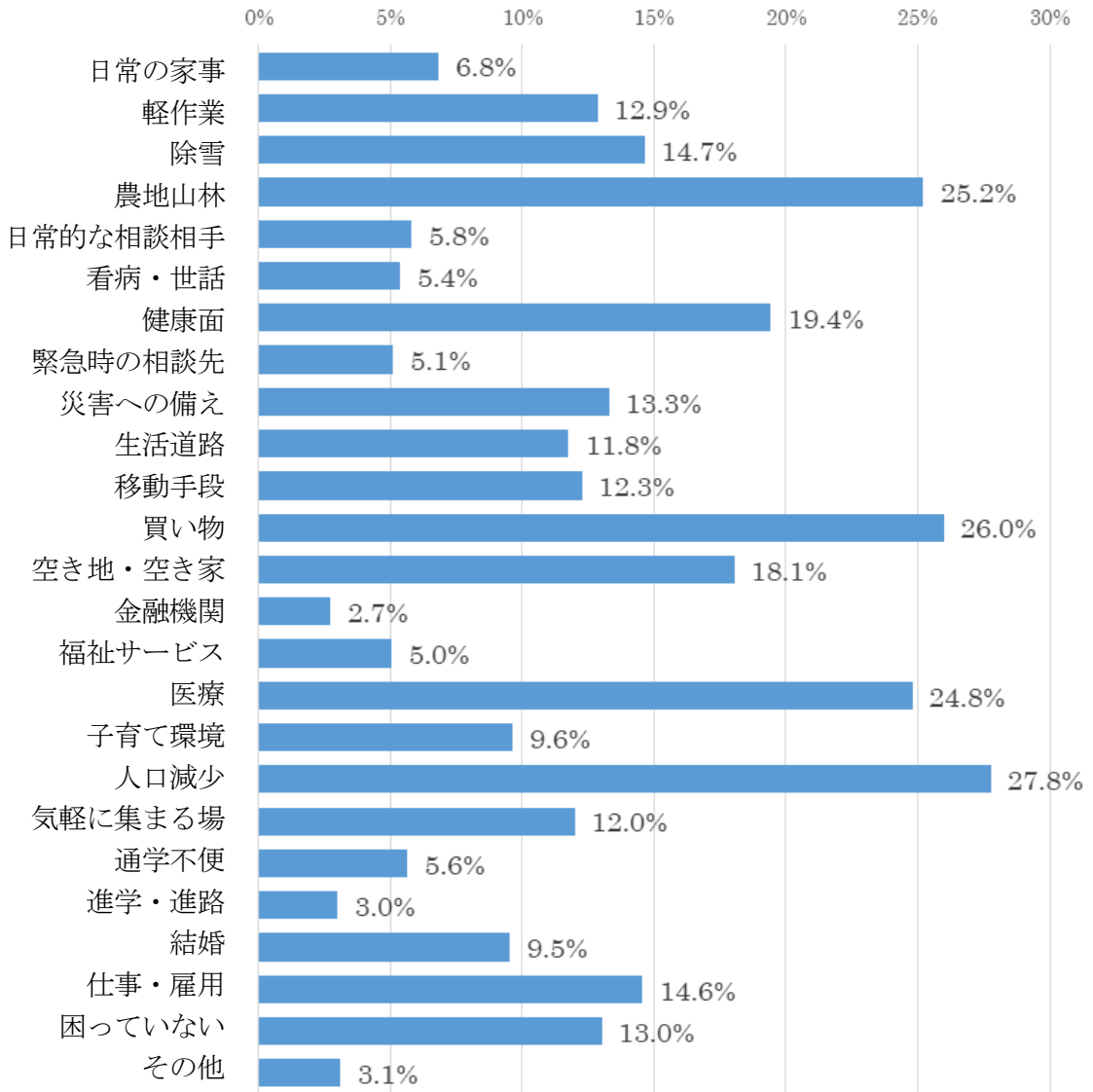


図4 日常生活について不安に感じていること・困っていること



○事業の重要度・満足度

米谷地域づくり協議会で関わっている 28 の事業や取組の、重要度と満足度について聞きました。重要な事業としてとらえていただいたものとしては、防災活動と防犯・交通安全でした。また、現在の取り組みに最も不満を持っていることとしては、空き地・空き家対策という結果でした。

重要と思っている事項、不満に感じている事業への取り組みが求められているものと思います。

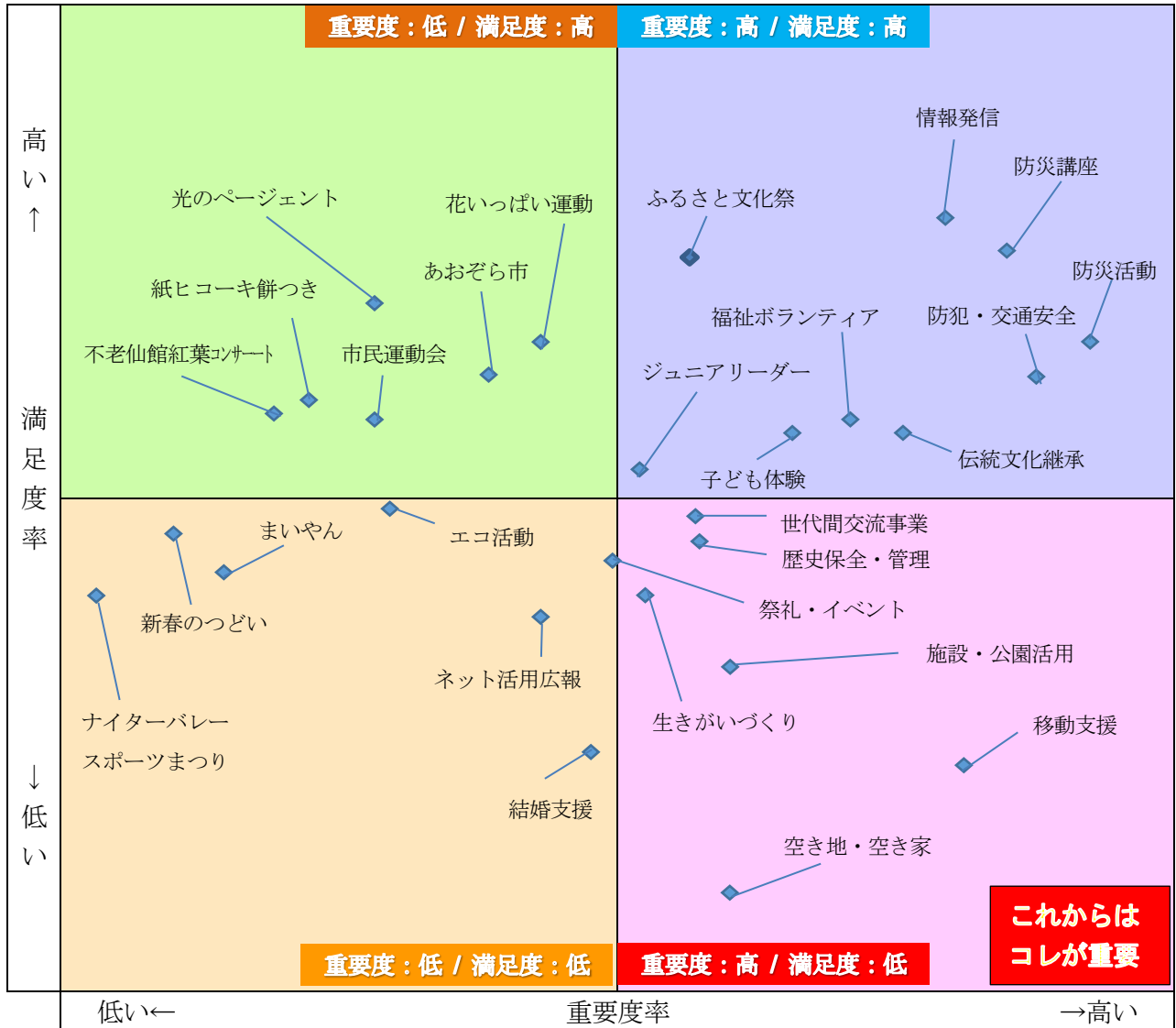


図5 重要度、満足度について



○移住者の受け入れ

移住者の受け入れについては、年代による差はなく、半数以上の56%の方が受け入れるべきと答えています。

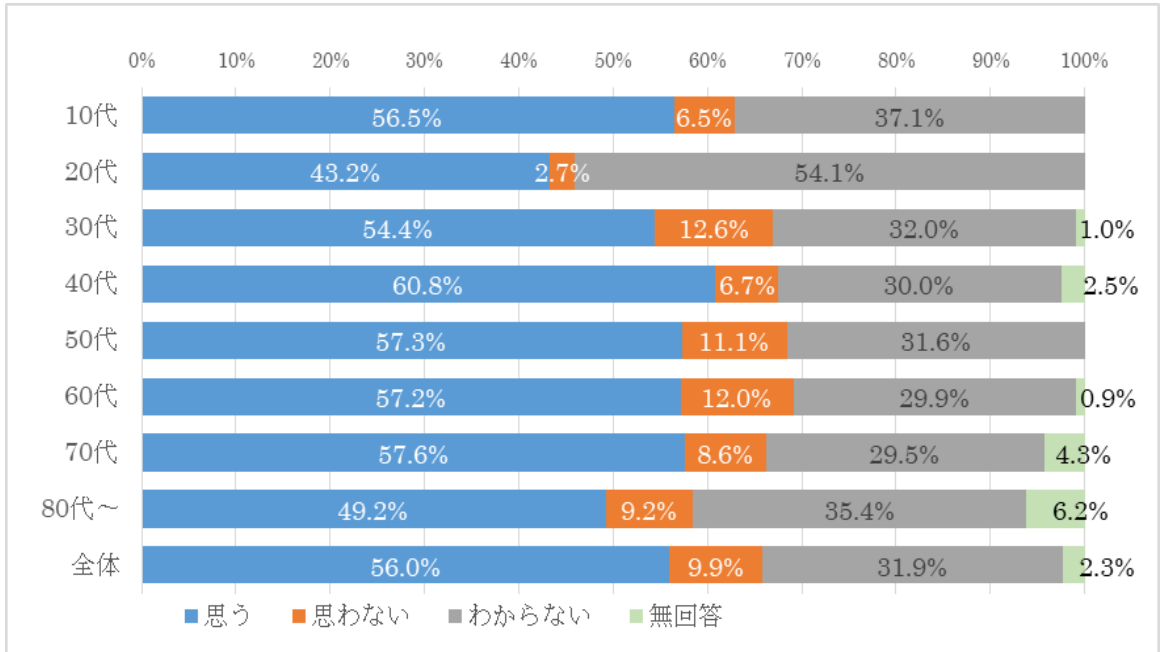


図6 他の地域からの移住者を積極的に受け入れるべきですか

○この地域に住み続ける

今後もここに住み続けたいかを聞いた問では、10代20代では住み続けたいと思っている人は半数以下で、年齢が上がるにつれ住み続けたいと思っている方の割合が高くなっています。

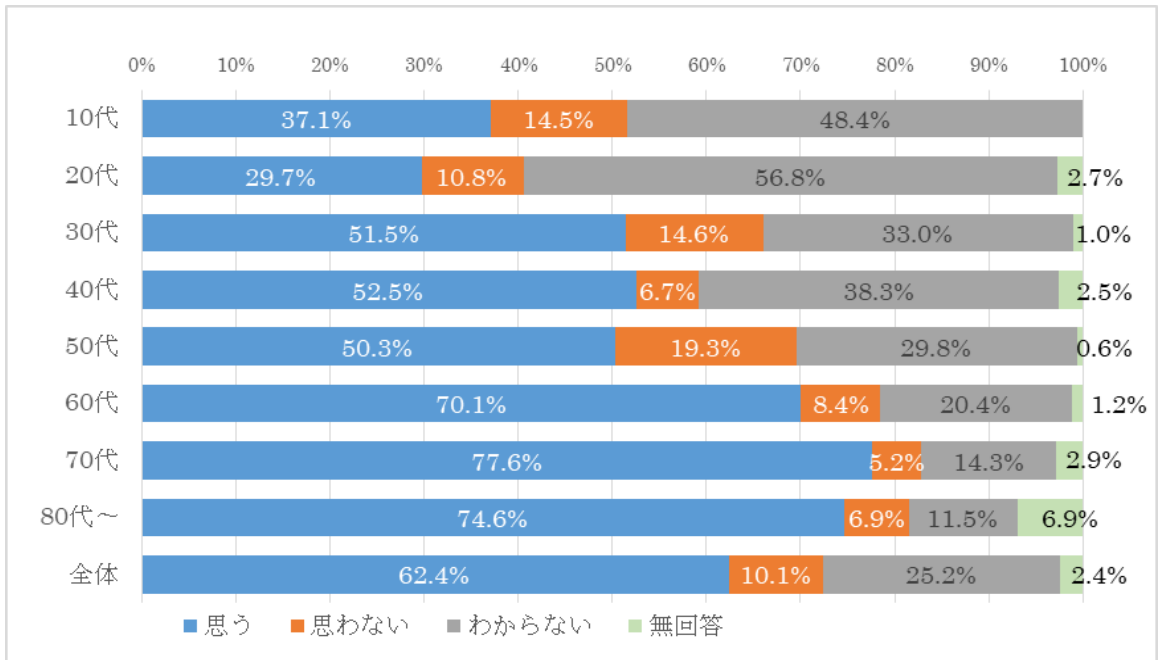


図7 今後もこの地域・集落に住み続けたいですか

○地域への愛着

この地域に愛着を感じているかについては、高齢になるほど愛着を持っていることがわかりました。全体でも5割以上の方は愛着を感じています。

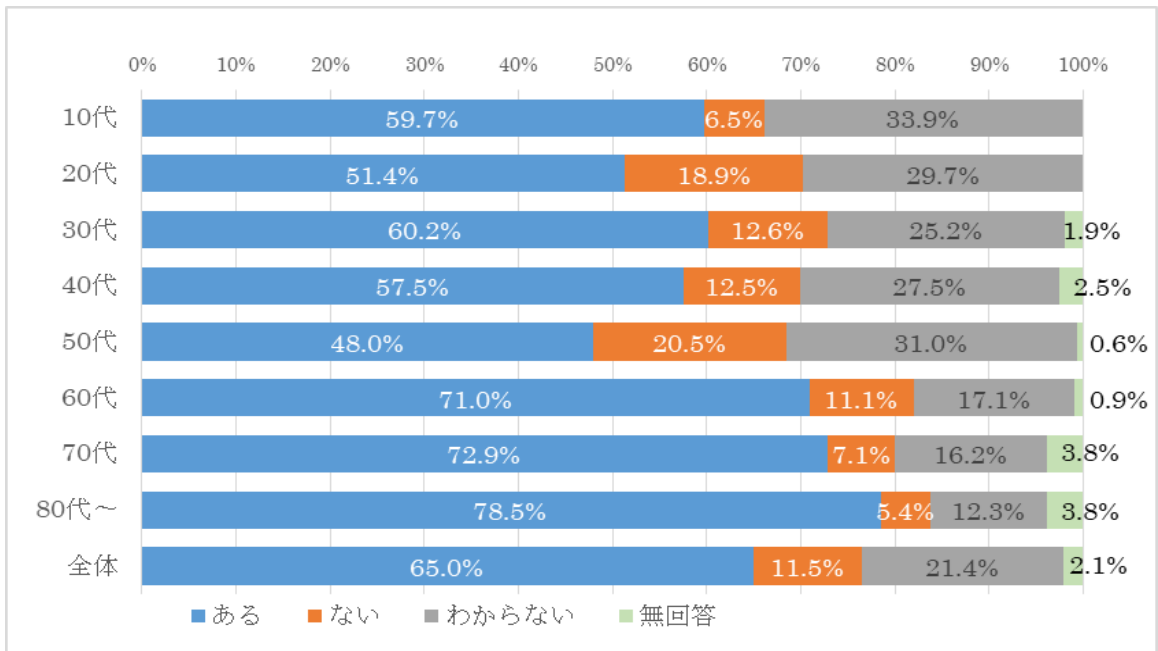


図8 この地域・集落に愛着がありますか

○地域活動への関心

地域活動への関心については、関心があり参加している方と関心はあるが、参加できていないを合わせるとちょうど半分という結果でした。関心がないので参加していないという方は、50代より若い世代に多く、関心はないが付き合いで参加しているという方は60代より高い年代に多く見られました。

関心はあるが参加できない理由としては、仕事、学業で余裕がないため、関心がないが参加している理由としては、付き合いを大切にしたいからという回答が最多でした。

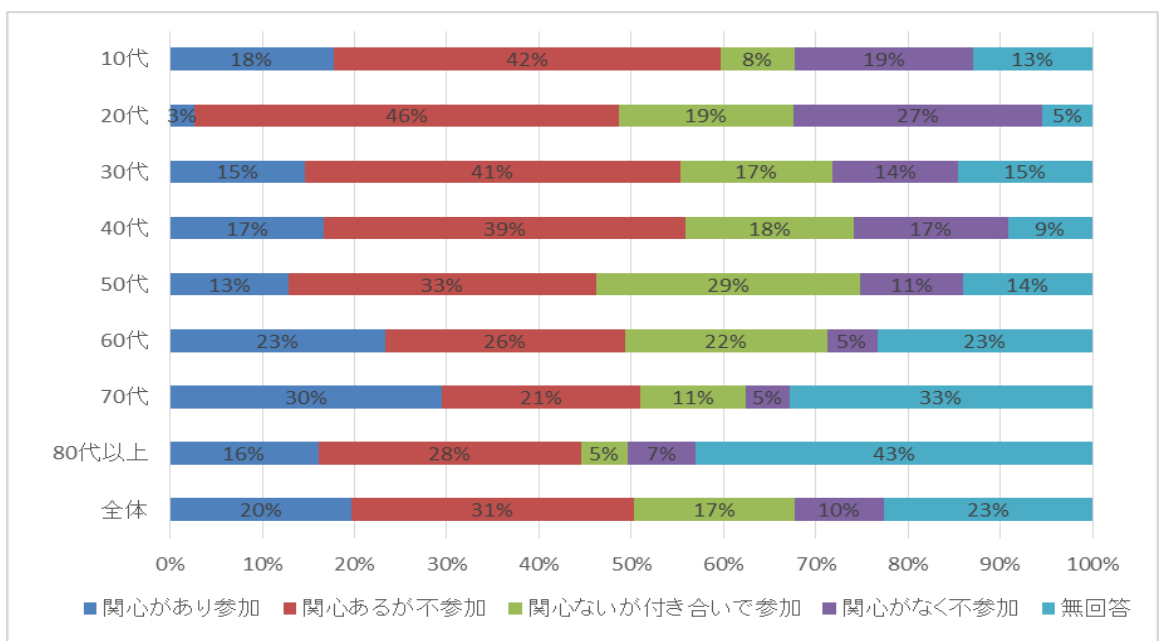


図9 地域活動への関心度

(3) アンケートに寄せられた提言

アンケートの自由記載欄に記載のあった提言として次のようなものがありました。

- ・米谷を盛り上げたい。若い力、若い声を大事にしながら盛り上げてほしい
- ・若い世代の志ある仲間づくりがとても重要
- ・若者が住み続けられる地域にしなければならない
- ・新しいことを始めるには、やめることも考えなければならないのではないか
- ・米谷の花火大会の復活を期待している（多数の意見がありました）
- ・快適空間を備えた図書施設の充実
- ・秋祭り（収穫祭）の開催を検討してほしい
- ・日中の参加は仕事のため難しいので、事業は18時以降に開催してほしい
- ・運転免許証返納後の移動手段のため、乗合タクシー、住民バスを充実してほしい
- ・米谷の自然をこのまま次の世代に繋いでほしい
- ・（公民館に）憩いのスペースやテラス等を設置してコーヒーやお茶が飲めるように
- ・自由に遊べる公園などが欲しい
- ・米谷工業高校の跡地を活用してはどうか
- ・三滝堂を活用してほしい
- ・公民館が土日も空いているといい
- ・イベント型のみのも事業だけでなく、5年後10年後を見据えた活動を
- ・親子で参加できるイベントがあったらいい
- ・子供が楽しく遊べるような遊技場や体を適度に動かせるアスレチックを作してほしい
- ・米谷工業高校を宿泊施設に
- ・地域づくり協議会の活動をもっとPRしてほしい
- ・公民館に、用がなくても時間が過ごせる環境を
- ・公民館主催で婚活や出会いの場を



第2章 第一次計画の取組状況と課題

1 第一次計画の取組み状況

第一次計画は、平成27年度を初年度として平成31年度までの5年間で計画期間として、平成26年度に策定しました。

第一次計画においては、計画推進のための具体的な取組みとして次の4点を取り上げました。

①豊かな人づくりのために

- ・ボランティアの育成を行い、サービスの充実を図る。
- ・行事の見直しを行い、子供から高齢者まで容易に参加できるようにする。
- ・保育の充実を図り安心して子育てができるようにする。

②地域資源を活用した交流づくりのために

- ・子供たちが農業体験や自然体験ができるようにする。
- ・施設や公園を活用し地域外との交流を進める。

③安心安全な環境づくりのために

- ・通学路や生活道路の整備を行い交通手段の改善を図る。
- ・住民バスを改善し利便性の向上を図る。
- ・高齢者の住みよいまちづくりをする。

④地域資源を活用したにぎわいのために

- ・空き地、空き家を活用し若者の移住を進める。
- ・お祭りやイベントによる活性化を図る。

2 第一次計画に取り組んでの成果と課題

第一次計画に掲げた4点の取組みを推進するために、4つのプロジェクトチームを立ち上げ、「盛り上げよう！おらほの米谷」プロジェクト事業として取り組んでまいりました。

おおむね計画通りに事業を実施することができ、PRキャラクターである「まいやん」の誕生も見る事ができました。しかしながら、一部実施できなかった分野の事業や、取り組んではみたものの、目に見える成果を出すまでには至らなかった事業もありました。

表4 第一次計画での事業取組み状況

プロジェクトチーム名	テーマ	事業名	実施年度				
			H27	H28	H29	H30	R1
豊かな「人づくり」プロジェクト	ボランティアの育成	ジュニアリーダー育成事業	○	○	○	○	○
	子供から高齢者まで参加できる事業	陶芸教室		○			
		星空観察会			○		
		クリスマス会			○	○	○
		ヨガ教室			○		
		お菓子の家づくり				○	
安心できる子育て	未実施						
地域資源を活用した「交流づくり」プロジェクト	子どもたちの農業、自然体験	座禅会	○		○		
		まいやんを作ろう		○			
		ウォークラリー			○	○	○
	地域外との交流	未実施					

プロジェクト チーム名	テーマ	事業名	実施年度					
			H27	H28	H29	H30	R1	
「安心安全な 環境づくり」 プロジェクト	交通手段の改善	未実施						
	バスの利便性向上	未実施						
	高齢者の住みよいま ち	交通安全、火災予防の 呼びかけ		○	○	○	○	○
		防災に関する研修会					○	○
		環境エコ運動			○	○	○	○
		ハザードマップ作成			○			
		反射グッズ配布		○	○	○	○	○
無事ですタオル配布					○			
域資源を活用 した「にぎわ い」プロジェ クト	若者の移住推進	米谷工業高校周辺を 歩こう					○	
		空き家に関する研修					○	○
	お祭り、イベントの開 催	キャラクター作成		○				
		キャラクター活用			○	○	○	○

米谷地域づくり推進協議会 PRキャラクター「まいやん」

誕生の経緯

米谷の地域づくりを進めるための一助として、キャラクターをつくることになり、平成27年10月に米谷の児童を対象にキャラクターを募集しました。

応募作品数53点の中から一次選考通過作品16点に対し、平成28年1月に米谷公民館で投票を行い、同年3月6日に行われた「第11回米谷ふるさと文化祭」にて結果を発表しました。

米谷の自然の「森」「川」をとり入れ、体の川は相川の三滝堂の川を表現しています。

プロフィール

- 性別: 妖精
- 生年: 明治4年
- 住所: 米谷の森
- 好物: みんなの笑顔
- 趣味: お宅訪問
- 特技: 山や川をきれいにすること
- 秘密: おなかの魚が話せることはないよ



第3章 基本方針

本計画では、第一次計画期間の取組について検証し、その結果明らかとなった課題等を整理し、さらにアンケート調査による地域住民の思いを踏まえ、おらほの米谷を盛り上げることを目標として掲げています。

この目標の達成に向け、今後の5年間で取り組むべき5つのテーマを掲げ、これらのテーマの実現のために取り組んでまいります。

1 計画の目標

この計画は、米谷の生活環境、住民の米谷に対する思いを盛り上げることを目指します。

2 計画の期間

この計画の期間は、令和2年度を初年度とする5年間（令和6年度まで）とします。

3 基本の方策

(1) 基本テーマ

目標を達成するため、次の5つをテーマとして米谷を育てていきます。

① 人材豊富な米谷をつくる（人材育成）

地域活動を担う人材を育成します。

② 安心安全な米谷をつくる（防災防犯）

地域住民の防災意識の向上を図ります。また自主防災組織の充実と連携を図ります。

③ 住み良い米谷をつくる（生活環境）

地域の歴史や文化、地域資源を活かした地域づくりを進めます。

④ 元気な米谷をつくる（健康）

体力づくりやスポーツを通して地域住民を健康にします。

⑤ 活性化した米谷をつくる（地域発展）

ほこりを持って住める地域にします。

(2) 事業の進め方

第一次計画を進めるためには、4つのプロジェクトごとに部会を作り、部会単位に、あるいは合同で事業を行ってまいりました。

また、第一次計画とは別に、米谷の地域づくりのために、米谷地域づくり推進協議会の5つの委員会でも、それぞれ事業を行ってきました。

この度の第二次計画を策定するにあたっては、プロジェクトごとに行っていた事業、委員会での事業を分析し、さらにはアンケート結果に基づき事業の見直しを行いました。プロジェクトの部会については、第一次計画の期間終了とともにその役目を委員会に引き継ぎ、部会で行っていた事業を委員会の事業として組み入れました。

次の表は、第二次計画で取り組む事業について、主に担当する米谷地域づくり推進協議会の各委員会です。

ただし、事業の実施、運営に当たっては他委員会所属の委員でも携われるよう、多くの方が関

われる仕組み（仮称「協力員体制」）を作ります。また、この協力員体制では、委員会に所属していない一般住民も対象とします。

表5 第二次計画で実施する事業の担当委員会

事業名	第一次計画期間での担当	第二次計画期間での担当
花いっぱい運動	自治委員会	自治委員会
新春のつどい		
まいや光のページェント	産業観光委員会	産業観光委員会
あおぞら市		
ウォークラリー	交流づくり部会	
PRキャラクター(まいやん)活用	にぎわい部会	
空き地空き家活用事業		
市民運動会	体育委員会	体育委員会
スポーツ大会		
スポーツ教室		
世代間交流事業	文化委員会	文化委員会
ふるさと文化祭		
リーダー育成事業（子ども）	豊かな人づくり部会	
防災講座	交通防災委員会	交通防災委員会
防災に関する研修会	安心安全部会	
環境エコ運動		
交通安全に関する事業		
火災予防に関する事業		

(3) 事業の見直し

事業の実施については、常に検証を行い、計画期間中内でも必要に応じ事業の見直しを行って、質を高めてまいります。

また社会情勢の変化や住民ニーズの動向により、新たな分野への取り組みも検討します。

盛り上げよう！あらかほの米谷



人材豊富な
米谷

安心安全な
米谷

住みよい
米谷

元気な
米谷

活性化した
米谷

目標

地域を盛り上げる人が育つ米谷にします

防災意識が向上し災害や事故のない米谷にします

豊かな自然と地域資源を活かして快適な米谷にします

体力づくりやスポーツで市民が健康な米谷にします

誇りを持って住める米谷にします

具体的な取り組み

ふるさと文化祭
子どもリーダー育成事業
新春のつどい

防災に関する研修会
交通安全・火災予防運動
通学時の安全確保

花いっぱい運動
環境工コ運動
世代間交流事業

市民運動会
スポーツ大会・教室

あおぞら市（盆の市・歳の市）
まいや光のページェント
まいやん活用事業

資料編

資料1 第二次『米谷地域づくり計画』策定委員名簿

番号	所属	役職	氏名	備考
1	地域づくり推進協議会	会長	秋 葉 茂 雄	策定委員長
2	地域づくり推進協議会	副会長	佐 藤 一 志	策定副委員長
3	地域づくり推進協議会	副会長	相 澤 米 子	策定副委員長
4	地域づくり推進協議会	自治委員長	齋 藤 政 孝	
5	地域づくり推進協議会	産業観光委員長	石 川 登	
6	地域づくり推進協議会	体育委員長	及 川 信 彦	
7	地域づくり推進協議会	文化委員長	千 葉 多 計 子	
8	地域づくり推進協議会	交通防災委員長	阿 部 修	
9	交流づくり部会	部会員	伊 藤 美 幸	
10	豊かな人づくり部会	部会員	山 内 重 希	
11	にぎわい部会	部会員	佐 藤 宏	
12	地域づくり推進協議会	事務局長	阿 部 よし江	

資料2 策定スケジュール

開催日	項目	テーマ / 検討事項
令和元年 5月24日	第1回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度～H30年度の活動の振り返り ・ 全戸アンケート内容検討
6月12日 ～ 6月30日	アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者 米谷在住の中学生以上 ・ 回収状況 配布数 1,715 回収数 1,174 回収率 68.5%
7月～9月	アンケート集計	
10月23日	第2回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート集計分析結果報告 ・ 米谷地域づくり推進協議会組織図について
10月31日	アンケート報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全戸に報告書を配布
11月7日	委員会、部会合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治委員会
11月11日	委員会、部会合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化委員会、豊かな人づくり部会
11月13日	委員会、部会合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業観光委員会、交流づくり部会、にぎわい部会
11月21日	委員会、部会合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通防災委員会・安心安全部会
11月22日	委員会、部会合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育委員会
12月18日	第3回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会、部会合同会議の結果について ・ 第二次米谷地域づくり計画について
令和2年 2月3日	第4回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次米谷地域づくり計画素案について
2月21日	第5回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次米谷地域づくり計画案について

米谷地区 地域づくりアンケート

～皆さんの声を是非お聞かせください～

米谷地域づくり推進協議会では、皆さんから日頃思っていることやご意見をお聞きし、これからも「みんなで地域を盛り上げる取組み」を計画し、実行していきたいと考えております。

つきましては、中学生以上の皆さんを対象としたアンケートを行うこととなりましたので、ご協力いただきますよう宜しくお願い致します。

令和元年6月12日

米谷地域づくり推進協議会 会長 秋葉 茂雄

【ご記入についてのお願い】

◇対象者 米谷地区にお住まいの中学生以上の皆さん

◇記入方法 回答は無記名で、ご本人がご記入願います。

◇回収方法 この封筒に入れ、封をし
班長さん、または自治会長さんにお届けください。

米谷公民館のアンケート回収ボックスも利用できます。

※ 6月30日(日)までにご協力願います。

◇結果の取り扱い

個人を特定しない形で集計し、本会の地域づくり計画の策定に使用いたします。また、自由記入欄については集計結果に反映しない場合もございますが、貴重なご意見として取り扱わせていただきます。

なお、集計結果は後日皆さまにお知らせいたします。

◇お問合せ ご不明な点がございましたら、米谷公民館までおたずねください。

米谷公民館
住所 東和町米谷字籾荷75
電話 0220-53-2006
(午前8時30分～午後5時)



問1 あなたの年齢と性別について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | |
|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 年齢 | 1. 13～19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 |
| 性別 | 男性 ・ 女性 | | | |

問2 あなたのお住まいはどの地域ですか。あてはまるものに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 米谷1区 | 2. 米谷2区 | 3. 米谷3区 | 4. 米谷4区 |
| 5. 米谷5区 | 6. 米谷6区 | 7. 米谷7区 | 8. 米谷8区 |
| 9. 米谷9区 | | | |

問3 あなたの職業等についてあてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|------------------|
| 1. 農業・林業・漁業 | 2. 自営業・会社経営 | 3. 会社員 |
| 4. 公務員・団体職員 | 5. パート・アルバイト | 6. 専業主婦(夫) |
| 7. 中学生 | 8. 高校生・高専生 | 9. 大学生・短大生・専門学校生 |
| 10. 無職 | 11. その他() | |

問4 日常の主な交通手段は何ですか。あてはまるものを1つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|---------------|-----------|---------|
| 1. 自動車 | 2. バイク(原付を含む) | 3. バス | 4. タクシー |
| 5. 自転車 | 6. 徒歩 | 7. その他() | |

問5 近所とのつきあいについて、悩みなどがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

- | |
|------------------------------|
| 1. 地域・集落での仕事、行事が多くて、忙しすぎる |
| 2. 隣近所とのつきあいが、わずらわしいと思うことがある |
| 3. 集落内に、話し相手や仲間が少ない |
| 4. 悩みや要望はない |
| 5. その他() |

問6 日常生活について、不安に感じていること・困っていることはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答）

1. 食事づくり、洗濯、ごみ出しなどの日常生活のこと
2. 庭作業（草取り）、電気器具設置（電球交換）など軽作業のこと
3. 玄関先、門口の雪掃きなど除雪のこと
4. 農地、山林の維持管理のこと
5. 日常的な相談をする相手がないこと
6. 看病や世話をしてくれる人がいないこと
7. 健康面に関すること
8. 緊急時の相談相手になってくれる人がいないこと
9. 災害への備えや避難に関すること
10. 生活道路などの環境整備に関すること
11. 買い物、通院などの移動手段（交通手段）に関すること
12. コンビニ、商店が少なく、日常の買い物に関すること
13. 空き地、空き家が近隣にあること
14. 身近に預貯金を引き出せる金融機関がないこと
15. 福祉サービス（デイサービス・介護施設）に関すること
16. 医師や診療科目などの、医療体制に関すること
17. 少子化による遊び相手の確保など子育て環境に関すること
18. 人口減少に関すること
19. 仲間と気軽に集まる場所がないこと
20. 学校が遠く、通学が不便であること
21. 進学、進路に関すること
22. 結婚に関すること（家族も含め）
23. 仕事、雇用に関すること
24. 不安や困っていることはない
25. その他（）

問7 次の活動・事業について、あなたの満足度（今の取組みに満足しているか）と、重要度（これからはこれが大切だ）を、それぞれ5段階で評価し、○をつけてください。

活動・事業項目	評価項目	満足度					重要度				
		満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
1	回答例	〇〇〇について	○					○			
2		〇〇〇について			○			○			

1	米谷地区市民運動会について										
2	ナイターバレー・スポーツまつりについて										
3	米谷新春のつどいについて										
4	不老仙館紅葉コンサートについて										
5	紙ヒコーキとばし&もちつき大会										
6	米谷ふるさと文化祭について										
7	防災講座について										
8	まいや光のページェントについて										
9	あおぞら市(盆の市・歳の市)について										
10	花いっぱい運動について										
11	福祉活動・ボランティア活動について										
12	子どもから高齢者まで参加できる講座・事業について										
13	ジュニアリーダー育成事業について										
14	祭りなど、祭礼・イベントについて										
15	史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動について										
16	子どもの農業体験、収穫体験、地域外交流について										
17	地域の伝統文化・芸能の継承について										
18	地域の施設や公園の活用について										
19	空き地、空き家の利活用について										
20	結婚支援活動について										
21	買い物・通院など、移動支援について										
22	生きがいづくりに関する活動について										
23	エコキャップ、プルタブ、古切手の回収について										
24	米谷地域PRキャラクター「まいやん」について										
25	見回りなど、防犯・交通安全活動について										
26	避難訓練・防災訓練など、防災活動について										
27	広報紙や回覧板など、地区内での情報共有について										
28	インターネットを活用した住民向けの広報・連絡について										

問8 あなたは、地域・集落運営に女性や若者の声が反映されていると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

問9 あなたは、他の地域から新たな定住者を積極的に受け入れるべきだと思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

問10 あなたは、他の地域との交流を行っていきたいと思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

問11 あなたは、今後もこの地域・集落に住み続けたいと思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

問12 あなたは、自分の子どもにもこの地域・集落に住んで欲しいと思いますか。
(子どもがいない方も、「もし子どもがいたら」と考えてお答えください)

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

問13 あなたは、この地域・集落に愛着がありますか。

1. ある 2. ない 3. わからない

問14 地域・集落内で、あなたが誇りに思っているものは何ですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 地域内の景観・自然環境 | 6. 地域内出身の著名人 |
| 2. 地域内の名所・旧跡 | 7. 地域内に暮らす人々 |
| 3. 地域内の特産物(農林産物、加工品等) | 8. 地域内の助け合いなどの社会関係 |
| 4. 地域内の産業 | 9. 地域内に誇りと思うものはない |
| 5. 地域内の諸行事(祭り、イベント等) | 10. その他() |

問15 あなたは、インターネットや電子メールを使っていますか。

- 1. 使っている
- 2. 使っていない

1に○をつけた方は、問15-2

及び問15-3もお答えください。

問15-2 主な使用機器は何ですか。

- 1. パソコン
- 2. スマートフォン・タブレット
- 3. スマートフォン以外の携帯電話
- 4. テレビ
- 5. ゲーム機
- 6. その他()



問15-3 あなたはSNS※ を利用していますか。

- 1. 利用している 2. 利用していない
- 3. わからない

※SNS：ソーシャルネットワーキングサービス
(Twitter、Facebook、LINE、Instagram)

問16 あなたは、米谷公民館/米谷地域づくり推進協議会のホームページを見たことがありますか。

- 1. ある
- 2. ない

問17 あなたは、行政区長が配布する文書、チラシ、冊子などを見ますか。

- 1. 見る
- 2. 時々見る
- 3. 見ない

ここまでご回答いただき大変ありがとうございます。
次のページでアンケート 終了です。もう少しおつきあいください



問18 あなたは地域活動（地域・集落の共同作業・祭り・行事・イベント等）に関心はありますか？次の《選択肢》の中から、1つ選んで番号に○をつけてください。
また、その『理由』としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

《選択肢》

『理由』

1. 関心があり積極的に参加している

- 1. やりがいがある
- 2. 何かの役に立てる
- 3. 知り合いや仲間が増える
- 4. 時間的に余裕がある
- 5. その他()

2. 関心はあるが積極的に参加していない

- 1. 仕事・学業などで時間に余裕がない
- 2. 人間関係が面倒である
- 3. 知り合いが少ない
- 4. 自分が役に立つか不安
- 5. その他()

3. 関心はないが付き合いで参加している

- 1. 時間があるからなんとなく
- 2. 周りの目が気になる
- 3. 活動に関心がないが、付き合いは大事にしたい
- 4. 人に頼まれた、もしくは勧められた
- 5. その他()

4. 関心はないし関わりたいとも思わない

- 1. 興味がない
- 2. 時間的に余裕がない
- 3. 人間関係が不安
- 4. 自由な意見などが言えない気がする
- 5. 地域活動に意義を感じない
- 6. その他()

【自由記入欄】 地域での暮らし、米谷地域づくり推進協議会の活動・事業などについて、感じていること、ご意見、ご提案等をご自由にお書きください。

足りない時は裏面もご活用ください。

アンケートは以上になります。
お忙しいところ貴重なお時間を割いていただき、感謝いたします。

【自由記入欄】



米谷公民館/地域づくり推進協議会ホームページのQRコードです。
是非ご覧ください。

<http://miyagi-maiya.jp>



ご協力ありがとうございました。
今後とも米谷地域づくり推進協議会をよろしく申し上げます。

第二次米谷地域づくり計画

令和2年3月10日

米谷地域づくり推進協議会

事務局 登米市米谷公民館

〒987-0902

宮城県登米市東和町米谷字杣荷 75

☎0220-53-2006